

# ハンガリーにおける保育者養成課程に関する考察

小澤 由理

日本児童教育専門学校非常勤講師／職業教育研究開発センター客員研究員

## A study on the curriculum of preschool teacher training course in Hungary

Ozawa Yuri

Affiliation: Japan Juvenile Education College Part-time Lecturer / Vocational education center of research and development

**抄録：**近年の日本の保育改革では、現代社会に対応した保育者としての様々な資質が求められている。この情勢下でどのように質の高い保育者を養成するべきか、ハンガリーの保育者養成を考察した。本稿は2011年以降のハンガリーの保育政策、政府の定める幼稚園教育コア・プログラムと保育者に求められる資質を概観し、事例としてエトヴェシュ・ロラード大学の保育者養成課程を取り上げた。その結果、現代のハンガリーでは多民族国家の保育者として様々な文化や社会の変化に対応し、かつ幼児教育を「人格の援助」とみなし、自国の文化に根差した保育実践を行う資質が求められていた。また保育者養成は、政府より学生が備えるべき保育者の資質が示され、保育者を志望する学生の技能入学試験を実施し、理論的かつ実践的な教育課程には長期的な子ども観察実習を行っていることがわかり、日本の保育者養成に対し、より実践的な保育者養成の在り方を提示した。

**キーワード：**保育者養成、保育制度、保育者としての資質、ハンガリー

### はじめに

本稿は、就学前の幼児教育・保育を担う保育者（本稿では幼稚園教諭を扱う）の養成に関わる教育課程についてハンガリーの事例をとりあげる。近年の日本では女性の社会進出や少子化対策から保育の量的拡充と保障を拡げる保育政策（待機児童ゼロ施策や保育料の無償化）が進められている。この情勢下で、保育者養成課程は大きな節目を迎えた。2017年より幼稚園教員および保育士の養成課程の見直しが行われ、幼小の連携に加え、家庭や地域社会における子育ての支援、障害のある幼児への指導等、新たな専門性の向上が必要となっている。この情勢下で、保育者養成校ではますます実践的な保育者の育成を目指し、かつ創意工夫により効果的・効率的な

教育の実施を期待されている。どのように実践的な保育者を養成するべきなのか、この課題について、本稿では日本とは異なる保育実践と歴史を持つ、ハンガリーの保育情勢や保育者養成課程の事例を参考としたい。

ハンガリーの幼児教育は長い伝統があり、コダーイを始めとする民族音楽や美術教育、体育、図工といった保育実践はヨーロッパで最も成功しているモデルとされる<sup>1)</sup>。他方、ハンガリーは近年のヨーロッパのECEC推進の動向を受けて、2011年から3歳児以上の幼児教育を義務化・無償化し、2016年のOECD報告書ではハンガリーは日本に比べて保育施設に対して5倍以上の資金が投入して改革を行っている<sup>2)</sup>。新たな保育改革のうねりの中でハンガリーの保育者養成はど

のようなものであるのか。本稿はハンガリーの幼稚園教員の養成に注目し、保育者の資質や養成の在り方について検討を行う。なおハンガリーの保育者養成については、日本で紹介された研究事例は少なく、サライ美奈の著作によって一部紹介されるにとどまっている<sup>3)</sup>。本稿ではハンガリーの保育政策、公教育法、幼稚園教育のコアプログラムを検討して、そこに求められている保育者の資質を見出し、その概要を示すとともに、事例としてハンガリー国内で教員養成で著名なエトヴェシュ・ロラード大学 (Eötvös Loránd Tudományegyetem) の初等・幼児教育学部 (Pedagógiai és Pszichológiai Kar) 保育者養成課程を取り上げ、その特徴について検討する。

## 1. ハンガリーの保育施策

ハンガリー共和国は中東欧の中心に位置し、北はスロバキア、東はウクライナとルーマニア、南はセルビアとクロアチア、西はスロバキアとオーストリアに囲まれた内陸国で、人口977.3万人ほどの国である。ハンガリーには周辺国出身の人々を含む多民族国家であり、公用語はハンガリー語（マジャール語）のほかにドイツ語や英語が通用する。

ハンガリーの保育施設は0～2歳の乳児を預かる乳児保育園 (bölcsode) と、3歳から就学年齢（7歳）までの幼児を預かる幼稚園 (óvoda) がある。これらは人的能力省 (Ministry of Human Capacities) 内にある、厚生・社会・家族局と、教育局の管轄に二分され、教育局の管轄する幼稚園は教育制度上、就学前教育として位置づけられている。

ここでハンガリー政府による保育施策について触れたい。1989年に社会主義体制から民主化に転換したハンガリーでは1996年 OECD に加盟、2004年 EU に加盟し、自由主義経済体制の下、経済発展を主眼とした女性の社会進出を進めてきた。2010年5月に発足したオルバーン政権以来、ハンガリーは社会保障制度改革、労働法改革、経済成長などによる雇用創出に努力し、近年では国内の女性の雇用が進んでいる。改革初期の2011年には女性労働者の「6歳以下の子どもがいる女性」の雇用率は34%でEU平均の58.9%に比べて低い数値であったが、2014～17年の間に女性の社会進出は8.5%も伸び、ヨーロッパの他国に比べて高い伸び率を示した<sup>4)</sup>。また同時期

にハンガリー政府は、女性の社会進出に伴う保育ニーズの需要を満たし、すべての国民のシュアスタートを保障する保育改革も進めた。すでに1993年公教育法によって（就学前教育として）義務教育の対象年齢を、幼稚園に通う5歳としていたのを、2011年公教育法は対象を3歳に引き下げ、私立の幼児保育園を除いた、公立の保育施設での保育料の無償化を開始した<sup>5)</sup>。またインクルーシブな教育政策として、1996年の公教育法以来、幼稚園への障害のある子を受け入れを増やし、専門家集団と幼稚園の連携を強めている。とりわけハンガリー政府は保育現場に対して困窮家庭やマイノリティの文化や言語に配慮する施策を慎重に講じている。ハンガリーでは国内でマイノリティの人々の分離教育が進行していることを鑑みつつ、政府は「2011～2020年の「第二回ハンガリー社会的インクルージョン戦略」の一つとして、2016年～18年の間に政府はこれらの子どもの教育の機会や保育施設の在籍数を伸ばす努力をした。また教育当局は困窮家庭やマイノリティの子どもと家族への配慮について、日本の幼稚園教育要領にあたる2012年に改訂された「幼稚園教育の国家の基礎プログラム」(Az Óvodai Nevelés Országos Alaprogramja)」に明記し、2018年までに幼稚園教員の養成課程の教育内容にも組み入れた。同時に、現場の幼稚園教員のモニター制の導入やこれらの子どもたちの支援に携わる公務員の訓練を行った<sup>6)</sup>。

これらの政策動向を受けて、ハンガリーでは幼稚園の数が近年増加している。2009年～10年には4336の幼稚園、32万8545名の園児、幼稚園教諭の数は3万0007名（1クラスの規模は園児数平均23名）であったのに対し、2018～19年には4598の幼稚園、38万1400名の園児、幼稚園教諭3万1300名（一クラス21.8名）であった。現在ではこれら全国の幼稚園の約10%以上が公用語のハンガリー語ではない、英語あるいはドイツ語を主とした外国語教育や、マイノリティの文化や言語に配慮したカリキュラムが組まれている。また2019年には幼稚園では約3%の子どもが特別なニーズのある子どもが在籍し、1クラスに2～3名の子どもが通っている。2011年には特別なニーズのある子どもの約半数しか幼稚園には通っていなかったが、2019年には全国で約1万名の特別なニーズのある子どもの82.2%が幼稚園での統

合教育を受けている<sup>7)</sup>。

## 2. ハンガリーの保育の特徴

次にハンガリーの幼稚園教育の内容について取り上げよう。ハンガリーでは日本の幼稚園教育要領にあたる幼稚園教育の詳細なガイドラインとして、2012年に改訂された「幼稚園教育の国家の基礎プログラム」(Az Óvodai Nevelés Országos Alapprogramja)がある<sup>8)</sup>。その内容はI. 序文 II. 子ども像・幼稚園像 III. 幼稚園教育の課題 IV. 幼稚園生活を組織するための原則 V. 幼稚園生活の活動形態と教師の課題 VI. 幼児期の終わりの発達的特徴で構成され、各幼稚園はこのプログラムに従っている。以下、三つの幼稚園教育の主要な目標は、2012年教育法363条(XII. 17.)に記載されている。

1. 子どもは、発達する人格として、暖かいケアと特別な保護を受ける権利がある。
2. 子どもの成長は第一に家族の権利と義務にある。幼稚園はこれを補い、場合によっては不利な条件を軽減する役割がある。
3. 幼稚園における教育は子どもの人格の発達の援助に専心すべきであり、平等に質の高い教育を受けられるよう、人権と児童に該当する権利は尊重されなくてはならない。

とある<sup>9)</sup>。これら三つの内容はハンガリーの幼児教育の基礎であり、とりわけ子どもを「発達する人格」としてとらえる像は、コア・プログラムにおいて繰り返し強調されている。

そのうえで、第二章では幼稚園教育の目的を「年齢や、あるいは個人の特性、並びに異なる発達のテンポ」を顧慮し、「幼児の多面的な調和のとれた発達や子どもの人格の発達を促し、不利な条件を軽減すること」としている<sup>10)</sup>。そして幼稚園教育の一般課題として、第三章では①「健康的な生活様式の形成」②「感情・道徳・共同体の教育」③「母語と思考力の発達と教育の実現」の3つを挙げている<sup>11)</sup>。

保育者の位置づけと職務が示されるのが、次の第四章である。第3項「幼稚園生活の組織」では、幼稚園教育の人的条件である保育者の存在を位置づけ、保育者は子どもに対して「受容的で発達の援助者」としている。そして保育者は、保育の計画について個別の欲求や土地に根差した習慣に応じ

て作成した日課と週課を作成することが明記される。ここでいう「良い日課」とは、「継続性と柔軟性」が特徴であり、「遊びの特別な役割というものを念頭に置き、調和のとれた活動を構成することが大切である。」<sup>12)</sup>とし、保育計画や日課の作成に当たっては、保育者が日ごろから子どもの様子を的確に把握し、子どもの記録を作成することを求めている。

続いて第四章では、保育者の社会的な資質が示される。幼稚園教育ではマイノリティ教育的配慮(社会的に不利な状況にある子どもの学習障害への配慮を含む)、特別なニーズのある子どもへの配慮を行い、幼稚園がそのような子どもを持つ家族との良好な関係づくりや、様々な専門家(言語聴覚士、他の特別な教員、心理学者、発達教育家)や社会的な組織とのオープンな関係づくりの重要性が盛り込まれている。第V章では、幼稚園生活の活動形態が挙げられる。ここではハンガリーが社会主義時代から伝統的に重視してきた幼稚園教育における遊びの重要性が明記される<sup>13)</sup>。遊びは「幼少期の最も重要で最も発達を促す活動」であり、「人格全体を発達させ、経験を与える活動」であることが強調され、「幼稚園における教育の最も効果的な手段である。」としている<sup>14)</sup>。さらにその「遊び」の活動は5つの形態で規定され、①「詩・物語」②「歌・音楽・歌遊び・子どものダンス」③「描画・造形・手仕事」④「運動」⑤「外界の環境認識」がある。植物や動物の世話など「仕事の活動」も園生活の活動形態に含まれる。最終章の第VI章では、就学前教育としてのレディネスの発達ステージの特徴を示している。幼小の移行過程における身体的、精神的、社会的成熟の観点が示され、幼児教育の最終段階に身につけたい様々なスキルが明記されている<sup>15)</sup>。

## 3. 保育者としての資質

次に保育者に求められる資質について紹介する。ハンガリーでは人的能力省による「養成と成果への要請」(The Training and Outcome Requirements, Ch. IX 4 of Annex 3 of Ministry of Human Capacities Decree 18/2016/ (VII.5))によって、保育者としての専門性の資質(コンピテンス)を明確に示している。これは保育者養成の教育目標として活用されるため重要な内容である。

表1 ハンガリーの保育者に求められる4つの資質とその内容

a 知識	・3-7歳の子どもの、個人的で総合的で健全な発達における調和的で複合な発達段階に関する、専門的で方法論的な知識について基本的で有益な基礎を身に付けている。
	・幼稚園教育の専門的な分野に関する基本的な文書に精通し、多様な活動形態の内容とそれら活動形態の関わりを含めた、全体的な目標と課題について明確な見通しをもっている。
	・様々な発達段階及び、これらの発達段階について理論的で方法論的な基礎をしっかりと把握し、保育の計画を立てられる。各発達段階の特徴と、発達の各段階の相互の関わりの特徴に精通している。
	・3-7歳の子どもの正常な発達過程と成熟過程について、子どもの学習の様々な側面を含めて、心理学的で生物学的な要因と特徴を基本的に認識している。
	・学生は乳幼児期の重要な役割が、個人の人生行路の基礎を確立し、個人の発達を促し、生涯にわたる学ぶ習慣を決める発達段階であるということ（発達を支援する様々な方法とともに）熟知している。
b 技術	・子ども個人と毎集団の、固有性と年齢と人格を関連付けた側面を考慮しながら、幼児教育の実践に教育学、心理学、社会学、方法論の知識を適応できる。
	・3-7歳の子どもの個と集団における、年齢に関係したそれぞれのニーズを基に、適切な教育的で発展的な目標と課題、及び内容を決定し、選択することができる。
	・学生は様々な教育的なプロセスを指し示し、援助し、分析し、評価できなくてはならない。
	・子どもを取り巻く社会文化的な家族の文脈と共に、3-7歳の子どもの一連の技術構造の固有で個別の側面を観察し、図表化し、記録できる。
	・3-7歳の子どもの多様な人格と、子どものそれまでの経験や、知識、適性と人生の諸段階を考慮し、これらに基づいた適応性のある方法で組み立てることができる。
・個別の、年齢に即した身体的、社会的、知的な発達を伸ばし、3-7歳の幼い子どもの人格が調和的に現れるように支援できる。	
c 態度	・3-7歳の時期の、個と集団の経験と知識の、系統化と発展を促す保育の方策と活動、方法を選択し、さらに支持的な環境作りを行う責任を持つ。
	・3-7歳の子どもの健全で総合的な発達に責任を持つ。
	・子どもの人格は、偏見を持たず、寛容さと社会的感受性と助力（を周囲から受けること）によって特徴づけられる。教員は子どものコミュニティ集団への適応を支援しながら、文化的自己アイデンティティの保護と維持に努める。
	・幼稚園教育は子どもに関心を注ぎ、子どもを受け入れ、幼稚園の教育課程で働く教育学的影響を子どもの人格に合わせなければならぬことに責任を持つ。
	・複合的な観点から幼稚園教育のプロセスを分析し評価することを義務とし、得られた結果をもとに将来の計画や活動を見直し、修正する。
・近年の国内及び国際的な調査方法と方法論の刷新を進んで取り入れ、情報と通信の技術に進んで精通し、これらの技術から生じた様々な機会を進んで利用する。	
d 自主性と責任	・教育施設で指導する活動及び、監督している（3-7歳の）子どもと集団に対して責任を持つ。
	・3-7歳の子どもの健全な発達と、多面的で調和的な人格が現れるために必要な、個人的で身体的な環境づくりに責任を負う。
	・幼稚園の教育期間中に下した自らの決断と、自らの様々な教育的な活動から生じた結果に責任を持つ。
	・思慮深い幼児教育者として、自立した個人として、専門的能力の発展にむけて意識的に行動する。
	・責任をもって他専門職との協同活動を発展させ維持することに協力する。

The Training and Outcome Requirements, Ch. IX 4 of Annex 3 of Ministry of Human Capacities Decree 18/2016/(VII.5) (筆者翻訳), Boddi Zsafia and Serefozo Monika (2019) pp.191-192から引用。

これによれば(表1を参照のこと)資質はa知識、b技術、c態度、d自主性と責任の4つのフィールドに分けられ、保育者として子どもを理解するための教育学と心理学の知識をもつこと、地域や社会の状況に合わせた保育を行う態度とスキルをもつこと、保育全般に責任を持ち、受け持つ子どもに対応した保育の計画と評価を行うスキルをもつこと、そして様々な専門職者たちとの協働や、保育者としての自己研鑽等、の内容が明記されている。

なおハンガリーでは保育の計画と評価について、2004年の公教育法により、幼稚園教育を評価するためのモニター制が導入された。同法によって幼稚園では在籍するすべての子どもが個別評価を受け、その評価結果を文書化することが義務付けられた<sup>16)</sup>。同法はハンガリーの保育者に求められる資質に影響を与えた。

ところで日本では2016年12月中教審答申が、新たに幼稚園教員に求められる資質として①幼稚園教諭

として不易とされる資質能力②新たな課題に対応できる力③組織的・協働的に諸問題を解決する力を発表した。ハンガリーの求める保育者の資質には、日本のそれと重なる点が見いだせる。特に②で示された新たな課題に対応できる資質として、変化する社会に対して保育者が自律的に学ぶ姿勢を持ち、自らの資質能力を向上させること、さらに保護者を巻き込んだ新たな幼児の理解、必要に応じた ICT 活用が強調されたが、これらの課題は各国に共通した現代的な課題でもあろう。

また注目すべきは、a知識、b技術のそれぞれに保育者を志望する学生が身に着けるべき資質が示されていることだ。(ハンガリーでは保育者養成校への入学を希望する者に対しても将来の保育者としての適性を見極める入学試験が同省によって規定されている。入学志望者には中等教育の修了要件とともに潜在的な保育のための技能能力(身体能力と歌唱能力、言語能力のテスト)図られる。)養成校が学生のどのような資質を養成すべきかを示している点は、今日の日本の保育者養成改革を鑑みれば興味深い。次節では保育者養成の詳細について記そう。

#### 4. ハンガリーの保育者養成

現在ハンガリーの幼稚園には、人的能力省の規定によって、学士レベルの大学ので3年間(6学期)の教育課程180単位を修了した幼稚園教員と、教員をサポートする幼稚園アシスタントが配置されている。幼稚園アシスタントは中等教育修了の有無を問われないが、特別な試験を受けている。また現職研修は、7年間で120時間の研修を受けることが義務付けられており、幼稚園は研修予算と代理の教諭の人件費を組まれてる。現在、保育現場に立つ職員のうち80%の幼稚園教諭が資格を持ち、このうちの97%が現職研修を受けている<sup>17)</sup>。なお、幼稚園教諭の養成課程は1989年から3年制の単科大学レベルでのコースが始まり、2000年以降に学士レベルに引き上げられた<sup>18)</sup>。これによって学士を得た幼稚園・保育園教員は現在、キャリア・アップとして修士課程を修了することが可能となっている。

幼稚園教員の教育課程は、人的能力省によって理論的な科目と実践的な訓練を含む4つの項目が決められている。1. 教育学、心理学、社会科学、コン

ピュータ科学 2. 幼稚園の教育活動の類型に沿った教育方法論(遊び、母国語と文学、数学、環境科学、音楽と唱歌、身体教育) 3. 他専門科目やマイノリティ教育に関する専門的な知識 4. 実習訓練で構成され、1の科目は全体の32-35%、2の科目は45-48%、4の実習は30%が全訓練時間の割合として充てられる。(3には規定はない。)このうち4の実習は将来の保育者としての経験を積む重要な科目とされ、実習を行った第5学期を修了すると、学生は様々な保育実践のスキルを試される<sup>19)</sup>。なお乳児を扱う保育士資格もまた6学期180単位の教育課程が定められており、教員養成校では幼稚園教諭と保育士の教育課程を併設していることが多い。

#### 5. エトヴェシュ・ロラード大学の保育者養成課程

エトヴェシュ・ロラード大学(Eötvös Loránd University、以下 ELTE)は、首都ブダペストに拠点を置き、17世紀に起源をもつハンガリーで最も歴史ある総合大学のひとつである。人文学部、人文学部や理学部など8つの学部をもち、とりわけ教員養成に関しては三つの専門分野別の学部を配置しており、特別支援教育学部、教育・心理学部、初等・幼児教育学部がある。本稿では、同大学の初等・幼児教育学部を取り上げる。同大学の同学部は、19世紀中ごろに始まるブダペスト教員養成カレッジにルーツがある。2000年に ELTE の傘下に統合され、2009年に小学校教員および幼稚園教員の養成に特化した学部として再編された<sup>20)</sup>。毎年500~600人の学生が入学し、10学科の学士課程を持ち、それぞれに修士課程、博士課程がある<sup>21)</sup>。学科の専攻には初等教育分野、幼児教育分野、初等教育の副専攻コース、マイノリティ教育分野、2017年には新しく設置された芸術視覚文化教育分野があり、まさにハンガリーの教員養成・研究をリードする大学である。現在ではヨーロッパの国際基準に則った教育機関として留学生を広く受け入れ、2019年からすべての授業を英語で行っている。

本学部の教育目標は以下のようである。①普遍的な人間の価値、倫理規範と国民の未来に向けて責任ある態度と奉仕を示す。②質の高い子ども期の発達を確かなものにする専門職のための理論と実践を学

ぶ。③知的で批判的思考と文化芸術の基礎を結びつける。④身体的・精神的な健康の保護を保育の第一の任務と考える。④一つ以上の外国語を流暢に話し、高いレベルのハンガリー語でコミュニケーションをとる。⑤デジタル・テクノロジーを流暢に扱う。⑥専門的な技術と基礎的な知識を継続的に向上できる<sup>22)</sup>。このような教育目標は本学部の教育課程に浸透している。

### (1) 入学試験での適性検査

さてハンガリーでは保育者養成校の入学には人的能力省の規定に沿った入学試験が実施されている。保育者を目指す学生の適正をどのように図っているのか、その具体的な内容について、本学部の入学試験を紹介したい。入学希望者は志望動機書や健康診断証明書の書類審査、身体能力テストのビデオ審査に加えて、スカイプを使った言語能力テスト、英語の言語能力テスト、唱歌と音楽の能力テストが行われる。テストの内容は次の通りである<sup>23)</sup>。

- ・身体能力テスト：走る、縄跳び、体のバランス能力、ジャンプ、ボールを使った運動、腕立て伏せ、4種類の体操
- ・言語能力テスト：児童文学から10～15行のテキストを声に出して読み、内容について議論し、自分の考えを組織立て表現する。
- ・英語の言語能力テスト：同学部による英語での授業に適しているかを面接官との英会話を通じて試される。(志望動機に関する質問、子どもの絵本の絵を題材にした会話、英作文)
- ・唱歌と音楽の能力テスト：4～5つの伝統的な民族音楽および一般的な児童歌(4～5歳)を母国語で楽譜なしで歌い、異なる音階でも歌う。次に音楽の能力を評価するため、簡単な短い韻をクラップやタッピングで拍を取る。ハミングやソルフージュを耳で聞きき、いくつかの簡単なメロディーを歌う。子どもの簡単な歌の楽譜を見て、いくつかの韻を披露し、初見での歌唱能力を評価する。

以上、試験の内容は保育実践に直結した、かなり実践的なものである。特に歌唱と音楽の試験は、ハンガリーの幼児教育の基礎となる民族音楽を把握しておく必要がある。また多民族国家の保育者とし

て、外国語(英語)を十分に習得し日常生活で活用できる能力が問われている。このような保育者としての潜在的な資質を実践的な能力試験から見極めようとする点は、筆記試験をメインとする日本の入学試験とは大きく異なる印象を受ける。

### (2) 教育課程

次に教育課程である。詳細な講義内容については表2にまとめた。

表2 エトヴェシュ・ロラード大学  
初等・幼児教育学部講義内容一覧

科目	科目内容
「心理学の基礎」	心理学入門、教育心理学、発達心理学、遊びの心理学と教育学Ⅰ・Ⅱ
「教育学の基礎」	教育史Ⅰ・Ⅱ、幼児教育学Ⅰ・Ⅱ、教育学と心理学の複合試験
「専門職としての教育学」	職業的社会的化、研究方法、インクルーシブ教育、家族と幼稚園
「社会における保育者の役割」	幼児教育におけるハンガリーの国家的象徴と祝祭日、幼稚園と社会：社会的な研究方法と家族社会学、社会における価値：批判的思考実践、近現代のハンガリーの社会と文化とマイノリティ
「デジタル教育学」	デジタル教育学の実践、幼児期の電子機器の活用
「音楽と方法論」	歌唱と音楽の方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ
「母国語と方法論」	母国語教育方法論Ⅰ・Ⅱ、ハンガリー語、話し方の修養Ⅰ・Ⅱ、言語の修養
「児童文学と方法論」	児童文学と方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、現代文学
「数学と方法論」	数学教育法Ⅰ・Ⅱ、幼児期の創造的活動
「環境教育と方法論」	機能解剖学、環境・自然・環境保護、衛生学Ⅰ・Ⅱ、環境学方法論Ⅰ・Ⅱ
「身体教育と方法論」	身体教育方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、身体教育理論
「視覚技術と方法論」	人形劇とその方法論、視覚技術の発達計画、美術教育学、視覚芸術の基礎、絵画制作と工作講習Ⅰ・Ⅱ
「幼稚園実習」	幼稚園観察実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ
「複合幼稚園実習」	個別分析実習、複合分野実習

([https://www.tok.elte.hu/dstore/document/457/stipendiu\\_programme\\_structure.pdf](https://www.tok.elte.hu/dstore/document/457/stipendiu_programme_structure.pdf) ELTE ホームページより、筆者作成)

これらの科目をすべて取得すると、全180単位となり、1年時に64単位、2年時に61単位、3年時に

46単位の取得が設定されている。これらの科目のほかには学生はバイリンガル教育のための選択科目を受講することができる。これら科目の中で最も重視されているのが、幼稚園実習である。実習の内容は、第1学期は集団での観察を3回、個人観察を5日行い、第2学期から5学期までに週に1回集団での観察、個人での観察を行う。第6学期は8週間連続での幼稚園の教室で教育実習を行うことになっている。学生の実習は通常の幼稚園のほかに、バイリンガル幼稚園での実習が可能である。教育実習の授業は、生徒の学習を支援する幼児教育者であるメンターが配置されており、毎学期の終わりに、学生は訪問した幼稚園のクラスや自らの経験をポートフォリオに記入し、メンターと他の学生と対面しながら実習の振り返りを行う。メンターは学生の活動内容や成長について記録を取るなどして学生の評価にも携わる。

## 考察

以上、ハンガリーの保育改革と保育者養成校の事例の取り組みを紹介した。2011年以降のハンガリーでは女性の社会進出を進め、かつ保育の質・量の向上に向けて多額の公的資金を投入し、多民族国家としてマイノリティにも配慮した保育政策を行ってきた。そのような情勢下で、ハンガリーでは自国の文化に根差した音楽や美術教育等の伝統的で質の高い幼児教育法を引き継ぎ、多民族国家における子どもの人格の形成と保護を最優先する、現代社会に対応した保育者の資質が求められている。そのため保育者養成校では入学試験の段階から保育者としての潜在的な実践的な能力（身体能力・言語能力・音楽的能力・英語の運用能力）の資質を測り、保育者養成校では理論的かつ実践的な教育課程を経ながら、長期的で丁寧な実習に力を入れ、望ましい保育者の資質を育てていることがわかった。実習にはメンターとともに様々な子どもを観察することで学生の保育現場への適応を高めようとする目的がみえる。ハンガリーの事例は、日本において求められる保育者の資質と重なる部分があり、丁寧な実習に根差した保育者養成の在り方は、学生が将来的に質の良い保育者として継続的に成長するモデルを我々に提示してくれる。今後はハンガリーの保育者養成課程につい

て、より具体的な内容を検討し考察を深めたいと考えている。

〈謝辞〉本研究ノートの作成に当たっては、エトヴェシュ・ロラード大学の初等・幼児教育学部の Boddi Zsafia 氏により資料の提供及び質問への回答をいただいた。ここに氏の尽力に感謝申し上げたい。

## 脚注

- 1) 近年のハンガリーの保育事情については、サライ (2017)、大槻 (2017) を参照した。なおハンガリーの音楽教育については多数の研究がある。本稿では尾見 (2017)、三村他 (2008)、笹嶋 (2006)、清川 (2002) ハンガリー国立教育研究所編 / 羽仁訳 (1972) を参照した。
- 2) OECD (2016) *Starting Strong IV-‘Hungary’* Figure 2 Distribution of public and private expenditure on pre-primary educational institutions in 2013 p5
- 3) サライ (2017) 120-123項
- 4) Eurydice (2020) *Hungary ‘Early childhood education and care’* マイノリティとされる人々 (ロマ族、周辺国: ドイツ、スロバキア、ルーマニア、セビリア、クロアチア、ブルガリア、ギリシア、ルテニア、スロベニア等) はハンガリー全体の人口の10%近くとされる。特に貧困や差別、教育格差の著しいロマ族出身者は全人口の5%を占めている。
- 5) Ibid.
- 6) Ibid.
- 7) Eurydice (2020) *Hungary ‘Organization of programmes for children over 2-3 years’*
- 8) 原文の英訳については Boddi & Serefozo (2019) 日本語訳については尾見 (2017) を参照した。
- 9) 尾見 (2017) 70-71項
- 10) 同上、71項
- 11) 同上、71項
- 12) 同上、71項
- 13) 同上、71-72項
- 14) ハンガリー国立教育研究所編 / 羽仁訳 (1972) を参照。
- 15) 尾見 (2017) 72項
- 16) 同法によってハンガリーでは幼稚園では6か月ごとに子どもの健康記録と子どもの発達 (情動的、社会的、知的、言葉と運動)、幼稚園での活動の観察について文書に記録し、さらに親に伝えられている。その際、特別なニーズが必要と見られた場合は、専門家の発達検査や今後の保育の提案がなされる。Eurydice (2020) *Hungary ‘Assessment in Programmes for Children over 2-3 years’*
- 17) Eurydice (2020) *‘Initial Education for Teachers Working in Early Childhood and School Education’*
- 18) ハンガリーの幼稚園教諭の教育年限と学位取得は、幼稚園の増加とともに保育者養成のニーズが高まりとともに上昇した。1828年に Trez Brunszik 氏によって設立されたのがハンガリーで最初の幼稚園とされ、以来幼稚園教員の養成は始まる。第二次大戦後に1948年に幼稚園は国営化

され女性の社会進出が始まると、1950年代後半から幼稚園の数は大幅に増え、中等教育の修了要件とする一年制の養成所やパート・タイムによる養成所が設置された。1958年には高等教育レベルの2年制の教育課程が始まり、1985年に幼稚園教員の養成は単科大学レベルになった。1989年には3年制の教育課程に引き上げられ、1993年は養成所での保育者養成は終了した。2000年には保育者養成課程は3年制の学士課程に引き上げられ、現在までフルおよびパートタイムのコースが存在する。2007年には学士を得た幼稚園・保育園教員は修士課程の進学が可能になった。Boddi & Serefozo (2019) p191

- 19) Eurydice (2020) 'Initial Education for Teachers Working in Early Childhood and School Education'
- 20) Eötvös Loránd University (2019) p4
- 21) 学科には歌唱と音楽学、海外言語と文学、教育情報コミュニケーション技術、ハンガリー語と文学、数学、教育、自然科学、身体教育、社会科学、視覚教育がある。
- 22) Eötvös Loránd University (2019) p6
- 23) the Faculty of Primary and Preschool Education ,Eötvös Loránd University (2020)

#### 引用文献

- 大槻千秋 (2017) 「ハンガリーの保育園と保育事情」『帝京科学大学紀要』第13巻
- 尾見敦子 (2017) 「ハンガリーの幼稚園・小学校の音楽教育における伝承の歌遊びの意義」『川村学園女子大学研究紀要』第28巻2号67-84項
- 清川美也子 (2002) 「ハンガリーの音楽教育 (10) コダーイの音楽教育の実録 (3才~6才) 1983年ブタペストに於いて」『教育研究』青山学院大学教育学科第46巻 111-124項
- 笹嶋真夫 (2006) 「幼児教育に於ける言葉と音楽そしてコダーイシステムについて」『千葉敬愛短期大学紀要』第28巻 37-48項
- サライ美奈 (2017) 『ハンガリー たっぷりあそび就学を見通す保育』かもがわ出版
- ハンガリー国立教育研究所編 コダーイ芸術教育研究所訳 / 羽仁協子 (1972) 『ハンガリー保育園における美的教育』明治図書

三村真弓、吉富功修、北野幸子 (2008) 「ハンガリーにおける保幼小連携音楽カリキュラム — 就学前教育から小学校1年生への系統性に着目して」『音楽文化教育学研究紀要』第20巻1-12項

Boddi Zsofia and Serefozo Monika (2019) 'Brief introduction of preschools and preschool teacher training in Hungary' *Gyermeknevelés Koragyermekkori kutatások metodologiaja*, Vol. 2-3

Eötvös Loránd University (2019) The prospectus of the Faculty of Primary and Preschool Education

The Faculty of Primary and Preschool Education, Eötvös Loránd University (2020) Aptitude test via Skype :Language aptitude test in English, Speech aptitude test, Aptitude Test in Singing and Music [<https://www.tok.elte.hu/en/content/kindergarten-education-programme-ba.t.5021?m=102>] (最終検索日: 2020年4月12日)

Eurydice *Hungary*

'Early childhood education and care': [[https://eacea.ec.europa.eu/national-policies/eurydice/content/early-childhood-education-and-care-35\\_en](https://eacea.ec.europa.eu/national-policies/eurydice/content/early-childhood-education-and-care-35_en)] (最終検索日: 2020年3月20日)

'Organization of programmes for children over 2-3 years: [[https://eacea.ec.europa.eu/nationalpolicies/eurydice/content/organisation-programmes-children-over-2-3-years-21\\_en](https://eacea.ec.europa.eu/nationalpolicies/eurydice/content/organisation-programmes-children-over-2-3-years-21_en)] (最終検索日: 2020年3月20日)

'Assessment in Programmes for Children over 2 - 3 years': [[https://eacea.ec.europa.eu/national-policies/eurydice/content/assessment-programmes-children-over-2-3-years-21\\_en](https://eacea.ec.europa.eu/national-policies/eurydice/content/assessment-programmes-children-over-2-3-years-21_en)] (最終検索日: 2020年3月20日)

'Initial Education for Teachers Working in Early Childhood and School Education': [[https://eacea.ec.europa.eu/national-policies/eurydice/content/initial-education-teachers-working-early-childhood-and-school-education-34\\_en](https://eacea.ec.europa.eu/national-policies/eurydice/content/initial-education-teachers-working-early-childhood-and-school-education-34_en)] (最終検索日: 2020年3月20日)

OECD (2016) *Starting Strong IV-Early childhood education and are data country note- 'Hungary'*

受付日: 2020年4月17日